

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校体制整備事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課		
		実施期間	S24 ~	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進						

1 現状と課題

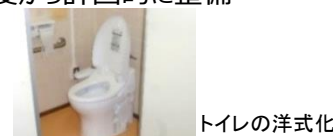
- ・経年劣化に対応した補修等による学校施設の維持保全と施設の長寿命化による教育環境の維持・向上が必要となっている。
- ・特別支援学校整備基本方針に沿って必要性の高い学校から、国の特別支援学校設置基準も踏まえつつ、順次抜本的な改築等の整備を実施する必要がある。特に老朽化が進む松本養護学校及び若槻養護学校においては早急な対応が必要となっている。
- ・スクールバスの利用希望に対応できる運行体制を確保する必要がある。

2 事業目的

- 特別支援学校の児童生徒にとって、安全・安心な教育環境を整備する。
- スクールバスを計画的に配備することにより、児童生徒の通学の安全と利便性を確保するとともに、保護者等の送迎負担を軽減する。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ①特別支援学校施設計画整備事業の推進
- ・中長期修繕・改修計画に基づき、学校生活の維持に必要となる修繕・改修を10か年（R3～R12）で計画的に実施
 - ・令和4年度の整備予定は56箇所
- ②トイレ整備事業の推進
- ・各特別支援学校において洋式化率80%以上、多目的化率20%以上の達成を目指し、令和元年度から計画的に整備
 - ・令和4年度の整備予定15箇所（洋式化9箇所、多目的化6箇所）、目標達成18/18校
- ③児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備
- ・スクールバス利用希望者数の増加に対応するための増車（4台）
 - ・感染症対策として、重症化リスクの高い児童生徒を対象にジャンボタクシー等を利用した増便



トイレの洋式化



ジャンボタクシーを活用したスクールバスの運行

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率（累計）	%	—	5.9	—	9.2	↗	8.6	達成	中長期修繕・改修計画において、10か年で185箇所を整備することが長期目標。そのためR4年度は、累計で16箇所（8.6%）を目標とする。	
②	トイレの洋式化率	%	82.4	84.6	↗	87.0	↗	85.8	達成	特別支援学校トイレ環境整備事業における計画において、R5年度までに87.5%とすることが長期目標で、R4年度における目標値は、85.8%。	

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	757,213	848,265	542,322	2,147,800	860,236	1,511,262	3.1
R3年度	157,274	1,122,407	752,495	2,032,176	1,146,216	1,165,726	3.1
R2年度	27,643	734,526	379,944	1,142,113	615,288	935,959	3.1

事業番号	15 05 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

6 主な取組実績と成果

①特別支援学校施設計画整備事業の推進

・特別支援学校において、屋根防水改修工事や体育館天井改修工事など計43箇所の計画修繕を実施

②トイレ整備事業の推進

・各特別支援学校において27箇所（洋式化19箇所、多目的化8箇所）のトイレを整備し、トイレの洋式化率80%以上を達成した学校は18校中18校となった。

③児童生徒の通学保障に対応するスクールバスの配備

・特別支援学校2校において2台のスクールバスを増車配置、1校において2台を新規配置し、3校において老朽化したスクールバスを3台更新した。また、急な児童生徒の増に即時対応できるよう弾力的に運用可能な大型ワゴン車3台分も確保し、利用希望に応じた運行ができるよう整備を進めた。

・重症化リスクの高い児童生徒37名を対象にジャンボタクシー等の借上げを行い、感染症対策として登下校の分散を図った。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	計画に位置付けた修繕・改修の各年度における実施率（累計）	R3年度推移	—	R4年度推移	↗	達成状況	達成
計画的に整備を実施し、目標値を達成							
指標②	トイレの洋式化率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
計画的に整備を実施し、目標値を達成							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・計画的に改修修繕に取り組んでいるものの、特別支援学校の老朽化や児童生徒数の増加に対応した改築等や教室棟の増築について改善が求められている。

・スクールバスについては、引き続き希望者全員が乗車できる体制を確保することが必要である。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

・中長期修繕・改修計画に関しては、引き続き各校の状況を十分把握した上で、老朽化や故障等の不具合がみられる施設・設備の計画的な修繕及び改修に取り組む。

・松本養護学校と若槻養護学校については、新しい学びを実現する学習空間デザインやZEB化にも十分配慮した改築に努めるとともに、児童生徒数の急な増加等に対しては増築等を行い、学習環境の整備に取り組む。

・スクールバス利用者を丁寧に把握し、ニーズに応じた運行に努めるとともに、安全な運行のため計画的にバスの更新を行う。

事業番号	15 05 02	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	特別支援学校体制整備事業費		部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	特別支援教育推進指導事業費	208,338 千円	290,521 千円	312,714 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	学校管理運営事業	直接	ICT環境整備、1人1台環境整備の加速、遠隔教育の推進、ICT機器の設定や操作研修等を実施するGIGAスクールサポーターを派遣、通信回線の追加整備等 電子黒板を全校に241台、VRゴーグル・プログラミングロボットを各校に整備	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	就学奨励事業	278,997 千円	312,497 千円	313,893 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別支援教育就学奨励事業	直接	特別支援学校に通う児童生徒の保護者等に対する就学奨励費の支給（国負担1/2） 2,451名に支給	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	特別支援学校整備事業	139,352 千円	265,659 千円	459,596 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特別支援学校施設整備事業	直接	老朽化した特別支援学校の施設・設備において施設整備を実施 特別支援学校43箇所において施設整備を実施	
2	特別支援学校トイレ整備事業	直接	特別支援学校のトイレ環境を整備するため、トイレの洋式化・多目的化を実施 洋式化19基、多目的化8基	
3	松本・若槻養護学校施設整備事業	直接 委託	松本・若槻養護学校において基本計画策定に着手 基本計画策定	
4	松本ろう学校施設機能拡張事業	直接	松本ろう学校及び寿台養護学校松ろうキャンパスの中央廊下の校舍断熱化改修を実施 中央廊下断熱化改修完了	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
4	特別支援学校運営費	309,272 千円	297,049 千円	425,059 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	通学バス・公用車整備事業	直接	経年劣化したスクールバスを更新するとともに、児童生徒数増加に伴う増車及び新規配置、弾力的な運用が可能なワゴン車を整備 スクールバス更新3台、増車2台、新規配置2台	
2	県立学校給食費等負担軽減事業	直接	食材価格高騰による保護者負担の軽減を図るため、特別支援学校における学校給食費等の値上げ相当分を支援 特別支援学校16校にて実施	
3	県立学校における感染症対策等支援事業	直接	感染症対策を徹底しながら教育活動を継続するために必要な、消毒液等の保健衛生用品やサーキュレーター等の3密対策に必要な物品を追加購入 特別支援学校18校にて実施	